

秋田市40校で献立変更 **ニチレイ障害 給食影響**

サイバー攻撃を受けたニチレイのシステム障害の影響が、小売りや外食のほか本県などの学校給食にも波及したことが16日分かった。メニュー変更や他社製品への切り替えが必要となった。ニチレイは冷凍食品で知られるが、実は全国75カ所に冷蔵倉庫を保有する低温物流業界の大物だ。関連の取引先は約5千社に上り、障害のインパクトは大きい。出荷業務は17日から順次再開するものの、正常化までどれだけかかるかは予断を許さない。

給食は秋田市の小中学校40校で使うハンバーグが届かず、16、17日の献立を変更。急きょ別の業者から鶏肉を仕入れた。市教育委員会によると、ハンバーグは16日に21校、17日に19校で提供する予定だったが、蒸し鶏に切り替えた。市立小中学校は18日から夏休みに入る。夏休み明け後の対応について、市教委学事課は今後の商品の供給状況を注視して検討するとしている。

仙台市でも小中学校4校に影響が出た。市によると15、16日はプリンを他社製やアイスに変更。

17日はゼリーや冷凍春巻きを他社製に変える。担当者は「献立が変わると、学校現場ではアレルギーの確認が追加で必要になる」と話し、早期のトラブル解決を求めた。ニチレイは競合他社も含めて小売り、外食向けに商品の保管から配送までを手がけている。

顧客の一つ、日本ケンタッキー・フライド・チキンが主力の「オリジナルチキン」を含む食材の配送を委託している。納品に支障が出て店舗が臨時休業する恐れがあると14日に発表。営業時間を短縮した店舗があるという。「今後も状況に応じて休業する可能性はある」と明らかにした。イオンでも一部商品で欠品が続いている。ローソンの看板商品「からあげクン」は、ニチレイが製造。在庫は豊富というが、システム障害の影響が長期化

すれば影響が及びかねない。ニチレイは13日に不正アクセスによりシステム障害が起きたことを発表。15日にはサイバー攻撃を受けたことを改めて説明し、17日から冷蔵倉庫の入出庫業務などを再開すると表明した。顧客への影響範囲は調査中だ。（令和8年7月17日(金)秋田魁新聞より一部抜粋）

